

# オイスカ

in 四国  
www.oisca-shikoku.org/

2016.April.  
vol. 16



オイスカ四国研修センター「地域」から「オイスカ」から



記憶を風化させない！  
継続した発信を通じて  
支援に取り組みます



Cultivate the Future  
—大衆と共に、もっとドコまで—

大	日	食
好	本	卓
き	の	●

No.8:茶碗蒸し



グレンダさん(23)  
マレーシア・サバ州出身

家政研修2年目に入りました。  
キッチンで新研修生に指導も  
する、頼もしい先輩研修生です。

わたしのオススメ！茶碗蒸し！！

私は日本に来てから、初めて食べて、おいしい！と思った料理は「茶碗蒸し」です。この味は、マレーシアにはありません。四国研修センターで初めて食べた時、とてもおいしくて、どうやって作るのか覚えたいと思いました。

私は家政研修の2年目です。センターではたくさんのメニューがあつて、私はまだ全部覚えられていません。でも好きなものから挑戦して、少しずつできる料理が増えてきました。昔から鶏肉が好きだった私が一番初めに覚えた料理は、とりの照り焼きです。もうレシピを見なくても作れます。茶碗蒸しもそうできるような頑張っています。茶碗蒸しは、だしを作ったり、いろいろな具を準備したり、時間に注意して蒸したりなど、細かくて難しいことがいっぱいあります。でもやっと、



大好きな茶碗蒸し。帰国後も作ります。

先生が作る味と同じおいしい茶碗蒸しを作ることができるようになりました。(やったー！)今年のお正月にホームステイをした時は、ステイ先のお父さんやお母さんと一緒に茶碗蒸しを作りました。二人とも「おいしい」と言ってくれて、とても嬉しかったです。今はマレーシアに帰っても、このような日本の味ができるようにいろいろ考えています。その時には皆さん、ぜひ食べに来て下さいね！



オイスカの会員・支援者になって国際協力活動に参加しませんか？

OISCA オイスカが進める人材育成、海外開発協力、「子供の森」計画および啓発普及活動は、長期的な取り組みが必要です。継続的なご支援をお願いいたします。

今すぐできる支援の方法は5つ 無理なく続けられる方法をお選びください

■支援内容 支援に関する詳細は <http://www.oisca.org/support/> または下記問い合わせ先にご連絡ください

1 毎月の継続寄附	毎月500円でオイスカ活動をトータルにサポート。8月に年次報告書が届きます。 ●ワンコインサポーター……500円×12カ月 ※月々の自動引き落とし 毎月2,000円からのオイスカ活動トータルサポート。月刊「OISCA」で活動の様子をご報告。 ●マンスリーサポーター……2,000円×12カ月 ※2,000円以上、任意(1,000円単位)の金額で月々の自動引き落とし
2 自由な寄附	各種活動の推進のための寄附です。時期、金額(1,000円以上)、回数は自由で、支援する事業をお選びいただけます。 ●海外開発協力事業 ●「子供の森」計画事業 ●人材育成事業 ●啓発普及事業(国内の森づくりなど啓発普及全般) ●啓発普及事業(海岸林再生プロジェクト) ●トータルサポート ……1,000円～(いつでも何度でも) ※1,000円以上のお申込みで、金額は任意となります。
3 「子供の森」計画支援	年間1口5,000円で「子供の森」計画を支援して下さる方を募集。支援証、活動を伝えるニュースと現地の子どもたちからのグリーティングカードが届きます。 ●「子供の森」計画支援……5,000円/年
4 賛助会員	オイスカの活動に賛同し、ともに歩んで下さる方を募集。月刊「OISCA」で活動の様子をご報告。 ●維持会員……20,000円/年 ●特別会員……50,000円/年
5 集めて送る	自宅にいながら参加できるボランティアです。ベルマークは1点=1円で「子供の森」計画に、書き損じはがきは各種活動推進のために使われます。 ●ベルマーク ●書き損じはがき

問い合わせ先

◆四国支部	〒760-0017	香川県高松市番町2-17-15	第二讃岐ビル2F	TEL:087-821-1503
◇高松推進協議会	〒760-0017	香川県高松市番町2-17-15	第二讃岐ビル2F	TEL:087-821-1503
◇坂出推進協議会	〒762-0011	香川県坂出市江尻町1721-10	〔株〕石井内	TEL:0877-45-0141
◇三豊推進協議会	〒769-1502	香川県三豊市豊中町笠田笠岡3915-3	〔株〕イナダ内	TEL:0875-56-6001
◇香川東推進協議会	〒769-2304	香川県さぬき市昭和5806		TEL:0879-52-5070
◇中讃推進協議会	〒763-0034	香川県丸亀市大手町3-2-1	〔四国電力(株)丸亀営業所内〕	TEL:0877-22-5973
◇綾川推進協議会	〒761-2103	香川県綾歌郡綾川町陶5179-1	〔オイスカ四国研修センター内〕	TEL:087-876-3333
◇徳島県推進協議会	〒770-8555	徳島県徳島市寺島本町東2-29	〔四国電力(株)徳島支店総務課内〕	TEL:090-3181-0158
◇高知県推進協議会	〒780-0870	高知県高知市本町1-6-24	〔高知商工会議所総務部内〕	TEL:088-875-1177
◆四国研修センター	〒761-2103	香川県綾歌郡綾川町陶5179-1		TEL:087-876-3333

大好き日本の食卓 ● No.8 茶碗蒸し  
あなたも参加しませんか？オイスカサポートの輪

推進協議会の活動報告

- ◎香川東 ◎高松 ◎綾川 ◎三豊
- ◎坂出 ◎徳島県 ◎中讃 ◎高知県



# 「地域」から「オイスカ」から



**オ**イスカ四国研修センターは香川県綾歌郡綾川町にあります。最近ではショッピングモールができるなど開発も進んでいますが、まだまだ田畑が広がり、山林や自然も多くあります。

オイスカはその地域のイベントによく招待して頂いております。節分や盆踊り、獅子舞、運動会など自治体、学校問わず様々な行事に参加しています。研修生は日本の文化に接する良い機会であり、また地元の方たちと交流することができます。地元の方たちも外国人となればオイスカ研修生だと認識して頂いているので、道や農作業中でも、会えばいつも声をかけて頂いています。

しかし地元綾川町で、オイスカのことを知らない人たちも多く、まだまだ十分に地域に関わりきれていないことも感じられます。町内のイベントに参加するだけでなく、オイスカからもイベントを催し、色々な方に来て頂ける工夫も進めたいと思います。まず秋に開催している「オイスカふるさと祭り」からより良くしていきます。

オイスカとしては近隣の方たちのご協力、ご支援を頂きながら、運営することができ、また研修生の人材育成をセンターのみならず周囲の人たちと一緒に関わりながら進めていくことで、研修生が日本について深く知ると共に、地域の方たちにも研修生の国について理解して頂くことが出来ます。オイスカはその輪をもっと広げていき、全ての人が幸せに生きていけるようにしていければと願っております。

## 地元子供会交流

地元の子供会と毎年交流を行っています。サツマイモのつる挿し、芋ほりを研修生と子供たちが交流しながら行っています。また陶地区の盆踊り大会でも一緒に踊ります。毎年会う子供たちも少しずつ大きくなり、外国人にも慣れて、国際感覚が身につき、親しく付き合えるようになっていきます。



## どじょう汁交流

この辺りでは夏の時期にどじょう汁を食べて精気を養います。地元の方たちの手作りのどじょう汁をオイスカのセンターで作り、近隣の人たちと頂きつつ、交流をしています。研修生はどじょうを食べるのも始めてで、香川のうどんと共に、地域の特産物を楽しませて貰っています。



## 綾川町綱引き大会

綾川町で行われている綱引き大会に毎年参加しています。綾川町の綱引きは本格的で一筋縄では通用しません。皆が一丸となり、諦めない強い意思が協調性を育みます。試合中、いつも大騒ぎのオイスカでは地元の人たちも一緒に応援してくれます。



# 記憶を風化させない！

## 継続した発信を通じて支援に取り組みます

オイスカ四国支部  
会長 石井 淑雄

2011年3月11日に発生した東日本大震災から五年が経過しました。オイスカでは、長期復興支援活動として、宮城県名取市で地元住民の方々とともに「海岸林再生プロジェクト」に取り組んでおりますが、四国支部の会員の皆さまからも多くのご寄附やプロジェクト説明チラシの設置など、この活動にご支援ご協力いただいております。

このプロジェクトの特徴は、海岸林が成長した後の維持管理まで見据えて、被災された地元の方々や海岸林の中心であるクロマツの播種をはじめ育苗などを行い、全国からのボランティアに移植や草取りなどを手伝っていただくことにより、大規模かつ着実に植栽実績を重ねていることです。四国支部では昨年5月14日～16日にオイスカ綾川推進協議会主管により現地視察・体験ツアーを実施しましたが、奇しくも香川県産クロマツが播種された直後で、不思議な縁を感じました。現地でお世話いただく皆さまのお陰により順調に



育っているようで、来年は海岸部に植栽される予定です。今後も引き続き、これまでの国際協力活動で大切にしてきた「共助の精神」を堅持し、被災地の皆さまに寄り添う活動をして参りたいと

存じます。平成28年度も四国は元より国内外でオイスカの活動を展開してまいります。会員の皆さまをはじめ、多くの方々のご理解ご協力をお願い申し上げます。



香川—香川東

会長 富田 義雄

ミャンマー・ザヤマ村に小学校校舎寄贈

昨年12月17日に綾川町のオイスカ四国研修センターにおいて、富田義雄会長は海外開発協力活動の一環として、長尾LC（森川康生会長）と合同でミャンマー・ザヤマ村の小学校に校舎を寄贈する目録を萬代保男所長に贈呈しました。

寄贈した校舎の建設資金は約120万円。現在の校舎は屋根がヤシの葉で作られ老朽化が進み、雨漏りがひどいため、雨の時などは近くの寺院で授業



寄付金目録贈呈の様子



ザヤマ小学校旧校舎

を行っているそうです。新校舎は、木造平屋建て170㎡、給水タンク付きで、今年3月末の完成を目指しています。



建設工事中の校舎の様子

萬代所長から「現地は満足な校舎もなく、お寺などを間借りして教育を受けているのが実情です。子供達は国の将来を担う宝であり、そのための教育施設の充実は、現地にとっては何よりも大きな喜びです」とのお礼が述べられました。

新しい校舎で子供達の歓声が聞こえる日が楽しみです。

香川—綾川

会長 大方 義裕

オイスカ活動報告会&ミネハハコンサート開催

平成27年11月28日(土)綾川町綾南農村環境改善センターにおいて、オイスカ綾川推進協議会はオイスカ四国研修センターと共催で「オイスカ活動報告会&ミネハハコンサート」を開催いたしました。

第一部は「オイスカ国際協力活動報告会」で、フィジー出身のタバオ・ルテ・ラトゥさんと、オイスカ中部日本研修センター宗像ジューエ研修課長によるフィジー共和国におけるオイスカ



コンサート終了後、会場は不思議な一体感に包まれました

活動について講演していただきました。

第二部は「CMソングの女王」と称されるミネハハさんの「ミネハハありがとう地球コンサート」を開催しました。

オイスカをPRするための初めての催しであり、大勢の皆さまに参加していただけたか不安でしたが、第一部の活動報告には百二十名、第二部のミネハハコンサートには二百名もの参加をいただき、盛会裏に開催することができました。

開催にあたり、後援いただきました地元、綾川町、綾川町教育委員会、綾川町商工会、ならびに協賛金をご支援いただきました皆さまに心よりお礼申し上げます。



フィジーについて説明するルテ(左)と宗像(右)



語りかけるような歌声で観客を魅了するミネハハさん

香川—高松

会長 杉村 和洋

オイスカ活動を知ってもらうために

高松推進協議会では、昨年11月11日〜13日の3日間、高松市主催の環境活動展に出展しました。広く一般の方にもオイスカを身近に感じてもらうため、森のつみ木広場や植林活動、「子供の森」計画の写真パネルなどの展示や資料配布などを行いました。特に、昨年度は「子供の森」計画を支援する



平成27年度高松市環境活動展(瓦町FLAG8階 市民交流プラザIKODE瓦町)

古本回収プロジェクトに力を入れて活動しましたので、環境活動展でも古本回収ボックスを設置し、協力を呼びかけました。足を止めて下さった皆さまが、オイスカへの理解を深めていただくとともに、知名度向上へ繋がっていくことを願っています。

「子供の森」計画お助け隊による古本回収は、個人・法人会員への呼びかけをひととおり行うことができました。ご理解とご協力ありがとうございました。この取り組みは、引き続き行つてまいりますので、お知合いの方にもお声掛けいただき、オイスカ活動の輪を拡げていけると考えております。



(株)タダノ様 古本回収



(株)四電工様 古本回収

香川—三豊

会員 小野 健一

黄江河畔の桜

韓国陝川郡第十五回さくらマラソン大会へ、三豊市走友会の皆さんと一緒に参加し、4月4日朝(飯前、二年前に黄江(ホワングン)河畔に植えた桜に会いに行ってきた。

わくわくしながらバスを降りて歩いて行く。あそこだ。花が見える。二年ぶりだね。会いに来たよ」と声を掛ける。そして、改めて看板を読む。『韓国植林事業この事業は、両国の友好関係を築くことを目的に、平成26年3月7日 オイスカ四国三豊』とある。二年間を懸命に生きて、見渡す限りに満開の先輩の桜に負けじと健気に花を着けている姿に愛しさが募ってくる。

朝食会場で横に座った小学校からの親友大井秀臣君から、「はい、どうぞ」と水を差し出される。コップの中にひとひらの花びらが浮いている。水に花びらを添えて、黄江の春の味をいただいた。友の風流な計らいに、水が鼻腔にツーンと来る。朝食を終えて靴を履こ

うと持ち上げると、かかとに花びらがひらひら名残惜しそうにくっついて来ている。それを手に取り、丁寧にさよならをした。

仁川空港から陝川郡へ、更に慶州ナザレ園へ、そして釜山までバスで走った。道路の並木、河畔の並木に、道中ずっと満開の桜を楽しむ。何と桜の多いことか。これほどの桜をよく植えたものだと感じ入る。先の大戦後、桜は日本の国花だと伐られ植えられなかった。ところが、1962年に済州島出身の植物学者ブシヨンヒ先生から「済州島の桜は済州島原産である」と発表されたことがきっかけとなり1970年代以降、桜の植樹が全国規模で進められたという。



2014年に植えた日韓友好の桜



香川一坂出

会長 宮崎 博文

第24回チャリティゴルフコンペ開催

坂出推進協議会では去る3月24日、高松カントリークラブにおいて快晴の青空のもと第24回目のチャリティゴルフを開催いたしました。年度末にも関わらず、多く会員や支援者が集いに親睦と交流を図りました。昨年ホールインワンを達成されました末沢光夫様(今回海外旅行中)を始め昨年以上の支援企業の方々にご協賛を戴き厚く



青空のもと多くのオイスカ支援者がゴルフを楽しみました



たくさんのお品で盛り上がった表彰式

御礼申し上げます。ご参加くださいました皆さまにはご満足いただけたでしょうか。一昨年植栽した16番ホールの桜も芽を大きく膨らませ待ちかねている様子でした。各組楽しくプレーして頂けたと思っております。表彰式では四国支部石井会長の挨拶に始まり、オイスカ四国研修センターの研修生2名を紹介し、またパネル展示でオイスカ活動をPRいたしました。たくさんのお品で大賑わいし、締めには河崎四国支部事務局長より各推進協議会のご協力に感謝申し上げ、来期に向け四国支部の会員増強達成と来春のご参加をお願いし、楽しい一日が終わりました。

香川一中讃

会長 中野 百合子

楽しい国際交流の夕べ

2015年12月7日、オイスカ四国研修センターの研修生・職員・中讃推進協議会と国際ソロプチミスト丸亀の会員総勢53名で、合同のクリスマスパーティーを、オークラホテル丸亀で開催しました。研修生は日本語のテストを終了して、帰国を前にし、少しほっとした時間のようでした。



オイスカ研修生による日本の歌に会場からも歌声

ソロプチミストの方にお聞きすると国際交流の夕べは丸亀クラブの発表以来毎年開催されているとのこと、35年余りに



互って研修生を招待下さって感謝でいっぱいです。以前はバイキングで立食だった

そうですが、今はテーブルについてフレンチのフルコースです。研修生にとっては、ナイフとフォークが並ぶ様子に緊張もするでしょうが、なかなか無い機会なのでテーブルマナーの良いお勉強になったようです。

2016年5月3日と4日は、中讃推進協議会のメインイベントの丸亀お城まつりへのオイスカレーの出店!!皆さまぜひ足をお運びください。研修生が民族衣装でお待ちしています。



ソロプチミストの皆さま

徳島一徳島県

女性部会長 岩木 順子

第9回エスニック料理講習会開催

2月10日(水)、女性部(会長:岩木順子)主催「第9回エスニック料理講習会」を開催しました。これは、研修生との交流をはかり、また、オイスカのPRを兼ねた毎年の恒例行事です。マレーシア出身のグレンダさんとモン



講師として初めての料理教室となったグレンダ(前列右3人目)、無事に終わって笑顔です



ゴル出身のトゥメンさんを講師としてお迎えしました。12名の受講者が、鶏肉のチリソースのようなマ

レーシア料理「アヤム・マサック・メラ」とデザートにビスケットとミロを使ったミルフィューユのような「ケーキパティック」、そしてピロシキのようなモンゴル料理「ホーシヨール」の三品に挑戦。慣れないメニューにもかかわらず、さすが主婦。手際よく調理し、出来ばえも上々。調理後の試食会では、講師と参加者が舌鼓を打ちながら談笑し、楽しい交流のひと時を過ごしました。



オイスカをPRする岩木会長



エスニックフルコースの出来上がり

高知一高知県

会長 青木 章泰

「四万十よんでの森」ふれあい活動に参加

平成28年1月26日(火)四国電力(株)が開催した「四万十よんでの森」ふれあい活動に参加し、地元小学児童や地域の方々と交流を深めました。

四国電力(株)では環境保全活動への取り組みの一つとして、これまでにも「四万十よんでの森」として高知県高岡郡四万十町内の山林への植樹や間伐を実施してきており、同社の活動に参加させていただきました。



今回は地元小学校の学校林でのシイタケ菌打ち、もみじの植樹をすることとなり、研修生4名、オ

イスカスタッフおよび地元小学校4年生と6年生児童など総勢58名が参加しての活動となりました。研修生にとっては、全てが初めてのことであり、一つ一つが新鮮な驚きと感動でもとも良い勉強となりました。また、児童にとっても、日頃、外国人を見慣れていないため、最初はおっかなびっくりの児童もいましたが、作業が終わるころには力を合わせて植樹するなど、有意義な交流活動が実施できました。



ホダ木に穴をあけ、シイタケ菌を打ち込んでいる様子



モミジの苗木を植える研修生

活動前に指導員から注意事項を聞きます